

## ボッシュ、「戦略 2030」で技術革新力を発揮 構造調整により競争力を強化

2026 年 4 月 16 日  
PI 12056 RB Ka/Bär

- ▶ 2025 年度：売上高 910 億ユーロ、事業からの支払金利税金控除前利益率 2.0%、フリーキャッシュフロー約 3 億ユーロ
- ▶ 2026 年度の展望：売上成長率 2~5%、事業からの支払金利税金控除前利益率 4~6%、フリーキャッシュフローの黒字達成
- ▶ 技術革新のリーダーシップ：将来の重要分野への多額な先行投資で技術的優位性を確保し、成長機会を強化
- ▶ シュテファン・ハルトゥング：「ボッシュは、たとえ厳しい状況下でも未来を実現します。2026 年は進歩の年となります」
- ▶ マルクス・フォーシュナー：「競争力こそが収益性の高い成長基盤であり、将来に向けた投資を確かなものとしします」

シュトゥットガルトガルトおよびレニンゲン（ドイツ） - ボッシュ・グループは 2026 年度、地政学的な緊張や貿易障壁に直面しながらも、技術革新力を最大限に発揮し、グローバル市場における成長機会を追求していきます。将来の重要分野への先行投資は、従来と同じ高水準を維持する予定です。ボッシュは、2025 年だけで研究開発と設備投資に約 120 億ユーロを投じました。グローバル規模で革新的なテクノロジーとサービスを提供するボッシュは、2026 年の売上成長率を 2~5%、事業からの支払金利税金控除前利益率を 4~6%と見込んでいます。ロバート・ボッシュ GmbH 取締役会会長の [シュテファン・ハルトゥング](#) は、年次記者会見で次のように述べました。「ボッシュはグローバルなテクノロジーリーダーとして、自動化、デジタルイゼーション、電動化、そして AI のトレンドを形成することに注力しています。これらは、当社事業における収益性の高い成長への道筋となるものです。そのための重要な前提条件となるのは、すでに着手している構造調整によるコスト削減効果および全事業分野における技術革新です」。技術革新力という点では、ボッシュは世界有数の産業企業であり、欧州で最も多くの特許を出願している企業のひとつです。ボッシュは 2025 年、約 6,300 件の特許を登録し、またしてもドイツで首位の座を獲得しました。2025 年度は厳しい事業環境にもかかわらず、売上高は 910 億ユーロを達成し、前年の 903 億ユーロをわずかに上回りました。これは為替調整後で 4.1%

の成長に相当します。事業からの支払金利税金控除前利益率は2.0%で、前年の3.5%を下回りました。将来の存続可能性を高めるため、必要な組織と人員の構造調整を実施し、27億ユーロの引当金を計上したことが、業績に大きく影響しました。

### 「戦略2030」：成長を加速させる技術革新と差別化

厳しい世界経済の環境下で事業を成功させるには、競争力のあるコスト水準を維持する必要があります。ドイツ国内で影響を受けるすべてのモビリティ拠点における必要な人員調整について従業員代表との協議を終え、高まる価格圧力に直面しながらも、ポッシュは将来の競争力を高めています。ハルトゥングは、「交渉は容易ではありませんでしたが、双方が強い責任感を示しました。現在、必要に応じた迅速性と一貫性をもって、また可能な限り社会的に受け入れられる形で、合意された措置を実行に移しています」と述べました。現在、自動車業界では中国が価格水準の基準を設定しています。そのためハルトゥングは、特に自動車市場における事業拡大や、ポッシュが主要市場でトップ3サプライヤーの一つとなることを目指す「戦略2030」を実現する鍵として、技術革新のリーダーシップの強化が重要な成功要因であると考えています。現在の貿易障壁や異なるユーザーニーズは、地域に適応したソリューションを提供するうえで、乗り越えるべき課題であると同時にチャンスでもあります。ハルトゥングは、ポッシュのグローバルな事業展開を競争上の優位性として捉えており、「国際競争においては、コストだけでなく何よりも他社との差別化が重要となります。私たちは、地域ごとの状況に応じて製品やサプライチェーンを適応させながら、同時にグローバルレベルの品質を提供することが可能です」と述べました。

### 2026年の事業展望：将来性のある重要な分野に投資

ポッシュは2025年の経済成長の低迷が、本年度も継続するとみています。主に中東での戦争がもたらす予測不可能な影響を伴う地政学的な動向により、高いレベルの不確実性が、今後もインフレや世界経済の成長に影響を及ぼす可能性があります。さらに、価格および競争圧力も依然として高い状況です。それにもかかわらず、ポッシュは本年度第1四半期において、売上高を前年度とほぼ同水準に維持しました。為替調整後、売上高は5%の増収となりました。ポッシュでは、世界経済は近年同様に緩やかな成長にとどまると予測しています。ロバート・ポッシュ GmbH 取締役会メンバー兼財務担当取締役 [マルクス・フォーシュナー](#) は次のように述べました。「収益性の高い成長の基盤となるのは、私たちの競争力です。そのため、私たちはさらなる競争力の向上に懸命に取り組んでいます。これにより、今後課題に直面した際の私たちのレジリエンス（回復力）が強化されると同時に、将来に向けた投資能力も向上します」。戦略的な機会と財務上の予防措置を考慮し、ポッシュは事業範囲を拡大しています。年間を通じて債券などの金融商品をさらに柔軟に発行できるようにするため、ポッシュは本年度の上半期について、初めて連結中間財務諸表およびグループ中間経営報告書を公表する予定です。これに関してフォーシュナーは、「すでに私たちは自己資金で

事業資金を調達する十分な能力を有していますが、この取り組みにより、資本市場からの資金調達力がさらに向上します」と述べました。

### **センサー技術が技術革新分野に：自動化およびロボット技術で売上を確保**

ボッシュはマイクロエレクトロニクスやセンサー技術で数々の技術革新を推進しており、「Invented for life」なテクノロジーに一貫して取り組むことで、大きな成長の原動力が得られると期待しています。専門家によると、グローバルなセンサー市場は 2031 年までに 4,400 億米ドルを超える規模になると予測しています。ボッシュのセンサーはロボット工学分野でますます重要な役割を果たしており、ボッシュは応用分野の拡大により成長利益を得られる見込みがあります。たとえば、BMI5 センサープラットフォームは非常にリアルな人工環境を再現し、ロボットが過酷な状況下に置かれても、周囲を認識して移動できるよう支援します。これまでで最も強力なセンサーソリューションにより、ボッシュは急速に成長するこの分野において有利な立場に立てると考えています。自動運転分野では、慣性センサーが将来の重要なコンポーネントと見なされており、さらなる売上増につながる可能性を秘めています。カメラや GPS 信号が利用できない場合でも、慣性センサーがあれば車両は自分の位置を完全に把握し続けることができます。「自動運転車両にとって、このセンサーは人間の内耳にある平衡感覚と同じように機能します」とハルトウングは言います。アナリストによると、車載アプリケーションにおけるインテリジェントセンサーの市場規模は、2030 年半ばまでにほぼ倍増し、800 億米ドルを超える見込みです。

### **モビリティ分野における技術革新：成長を加速させるアルゴリズムとパワートレイン**

ボッシュは、自動車向けソフトウェア市場規模が 2030 年までに約 2,000 億ユーロに達すると予測しています。これを踏まえ、ハルトウングはソフトウェアディファインド モビリティに大きな成長機会を見出しています。「ボッシュはこの分野で最先端を走っており、現在、文字通りドライバーの視界内に AI をもたらそうとしています」とハルトウングは述べます。ボッシュの新しい AI 拡張プラットフォームは、AI 対応の高性能コンピューターであり、車室内センシングソリューションと連携することで、運転が高度にパーソナライズされた体験へと変わります。「車両は、誰が運転席に座っているのかを認識し、他に同乗者がいるかどうかを検知して、外部ミラーや車両のハンドリングから、事故時のエアバッグ展開に至るまで、すべてを調整します」。インテリジェントな運転支援ソリューションに関する製品イノベーションは、世界のあらゆる地域で新しいビジネスを創出しています。センサー技術や車載セントラルコンピューターと合わせ、ボッシュは 2025 年に 100 億ユーロ相当の受注を獲得しました。e モビリティ事業の拡大に関して、ハルトウングは次のように述べました。「未来の自動車には、もちろんアルゴリズムだけでなくパワートレインも必要です。今年だけでも、ボッシュは電気自動車向けの 700 万を超えるソリューションと部品を供給する予定です」。つい数週間前、ボッシュはインドの Tata AutoComp Systems との合併会社の設立を発表しました。同社は、今年半ばからインド市場における e アクスルとモーターの開発、製造、販売に取り組む予定です。

## 消費財・サービス分野での技術革新：事業を前進させる AI

AI は、サービスおよび製品事業においても大きな成長機会をもたらしています。たとえば、BSH Hausgeräte にとって AI ベースの音声機能を搭載した新型オープンは、新しい販売機会を切り開いています。外部スピーカーや追加アプリは不要です。総じて、ラグジュアリーおよびプレミアムセグメントの家電製品の世界的ビジネスは、特に北米において今後も成長を続けると予想されています。市場専門家は、世界の家電製品の販売台数が 2030 年までに約 50 億台に達すると予測しています。AI の活用は、電動工具の製品技術革新も促進しています。今年初頭以来、エキスパート製品ラインの第 1 弾として 30 種類の工具が市場に投入され、プロフェッショナル向け電動工具の新しい基準を打ち立てています。たとえば、新しいウォールスキャナーは初めてボッシュのレーダー技術と AI による物体検知を組み合わせたもので、さまざまな種類の壁の中にある物体を検出します。ボッシュのサービス事業も AI を活用しています。ボッシュグローバルサービスソリューションズでは、AI ベースのアプリケーションにより、2030 年までに年平均 2 桁の売上成長率を見込んでいます。サービスポートフォリオには、eCall や故障時のロードサービスなどのデジタルモビリティサービス向けソリューションに加え、フリート運用者や物流企業向けのサービスも含まれています。

## 2025 事業年度：安定した財務体質、流動資産、研究開発費比率

2025 年、ボッシュは約 3 億ユーロのフリーキャッシュフローを創出しました（2024 年：約 9 億ユーロ）。売上高に占める研究開発費比率は 8.7% でした（2024 年：8.6%）。研究開発費は、79 億ユーロに達しました。フォーシュナーは、「困難な時期であっても、ボッシュは大規模な先行投資を行う用意があります。設備投資は依然として高水準を維持しています」と述べました。ボッシュは、e モビリティ、半導体、最先端のブレーキコントロールシステムといった分野で大規模な先行投資を行いました。自己資本比率も 41.6% という高水準を維持しました（2024 年：44.3%）。ボッシュ・グループは、連結決算の対象となるキャッシュフロー計算書に基づく流動資産が、74 億ユーロと前年比より減少（2024 年：82 億ユーロ）したにもかかわらず、引き続き堅実な財務基盤を維持しています。

## 2025 事業年度：事業セクター別の業績

事業セクターごとの売上高の伸びは、重点市場における景気低迷と為替のマイナス影響によって鈍化しました。**モビリティ**事業セクターの売上高は、0.1% 増の 558 億ユーロでした。これは為替調整後で 2.9% の成長率に相当します。事業からの支払金利税金控除前利益率は 1.8% でした（2024 年：3.8%）。**産業機器テクノロジー**事業セクターでは、売上高 0.1% 増の 65 億ユーロでした。為替調整後では 2.4% の増加となりました。これは主に、北米市場における下降傾向によるものです。事業からの支払金利税金控除前利益率は 3.5% に増加しました（2024 年：1.2%）。**消費財**事業セクターの売上高は、前年比 1.9% 減の 199 億ユーロながら、為替調整後の売上高は 4.1% 増となりました。特に、中国と米国の建設業における勢いの鈍化が、消費財事業に影響を及ぼしました。事業から

の支払金利税金控除前利益率は 3.0%でした（2024 年：3.5%）。**エネルギー・ビルディングテクノロジー**事業セクターの売上高は、前年比 13%増の 85 億ユーロでした。なお、為替調整後では 15.6%増となりました。事業からの支払金利税金控除前利益率は、企業買収や売却活動に伴う一時的な費用の影響を大きく受け、0.5%にとどまりました（2024 年：4.9%）。

### **2025 事業年度：地域別の業績**

ポッシュの売上高は、欧州では若干減少しましたが、世界の他の地域ではわずかに増加しました。欧州での売上高は前年比 0.6%減の 442 億ユーロで、為替調整後では 1.5%増となりました。北中南米地域では、売上高 3.8%増の 185 億ユーロとなり、為替調整後では 9.3%増となりました。アジア太平洋地域では、売上高は 0.7%増の 283 億ユーロとなりました。為替調整後では、成長率は 5.0%という力強い水準に達しました。

### **2025 事業年度：従業員数の推移**

2025 年末時点で、ポッシュ・グループの全世界の従業員数は 41 万 2,774 人で（2024 年：41 万 7,859 人）、約 1%（5,085 人）減少しました。この影響が最も大きかったのはモビリティ事業セクターで、地域別ではドイツに最も大きく現れました。

報道用画像およびインフォチャートは、ポッシュ・メディア・サービス ([www.bosch-press.com](http://www.bosch-press.com)) でご覧いただけます。

### **報道関係対応窓口**

#### **コーポレート・事業・財務関連：**

Sven Kahn, e-mail: [Sven.Kahn@de.bosch.com](mailto:Sven.Kahn@de.bosch.com)

電話: +49 711 811 6415

#### **モビリティの自動化：**

Andreas Haupt, e-mail: [Andreas.Haupt@de.bosch.com](mailto:Andreas.Haupt@de.bosch.com)

電話: +49 711 811 13104

#### **コネクテッドモビリティ：**

Athanassios Kaliudis, e-mail: [Athanassios.Kaliudis@de.bosch.com](mailto:Athanassios.Kaliudis@de.bosch.com)

電話: +49 711 811 7497

#### **研究開発、先端工学、AI：**

Matthias Jekosch, e-mail: [Matthias.Jekosch@de.bosch.com](mailto:Matthias.Jekosch@de.bosch.com)

電話: +49 711 811 17645

#### **エネルギー・ビルディングテクノロジー：**

Dörthe Warnk, e-mail: [Doerthe.Warnk@de.bosch.com](mailto:Doerthe.Warnk@de.bosch.com)

電話: +49 711 811 55508

#### 人事・社会福祉:

Nora Lenz-Gaspary, e-mail: [NoraKatharina.Lenz-Gaspary@de.bosch.com](mailto:NoraKatharina.Lenz-Gaspary@de.bosch.com)

電話: +49 711 811 13315

Kristina Müller-Poschmann, e-mail: [Kristina.Mueller-](mailto:Kristina.Mueller-Poschmann@de.bosch.com)

[Poschmann@de.bosch.com](mailto:Poschmann@de.bosch.com)

電話: +49 711 811 52988

#### 世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2025年の従業員数は約41万3,000人(2025年12月31日現在)、売上高は910億ユーロ(約15.4兆円\*)を計上しています。ボッシュはモビリティ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・ビルディングテクノロジーの4つの事業領域を展開しています。ボッシュは事業を通じて、自動化、デジタルライゼーション、電動化、AIの取り組みといった普遍的なトレンド形成に、自社のテクノロジーを活用することをめざしています。こうした観点から、ボッシュは地域や業界の壁を超えた幅広い事業展開により、革新性と堅牢性を高めています。ボッシュは、ハードウェア、ソフトウェア、サービスにおける実績ある専門知識を活かし、さまざまな分野にまたがるソリューションをワンストップでお客様に提供しています。また、ネットワーク化とAIに関する専門知識を応用して、ユーザーフレンドリーで持続可能な製品を開発・製造しています。ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」なテクノロジーによって、人々の生活の質の向上と天然資源の保護に貢献したいと考えています。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社500社、世界約60カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売/サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、約8万2,000人の従業員が研究開発に携わっています。

ボッシュの起源は、1886年にロバート・ボッシュ(1861~1942年)がシュトゥットガルトに設立した「精密機械と電気技術作業場」に遡ります。ロバート・ボッシュ GmbHの独自の株主構造は、ボッシュ・グループの企業としての自立性を保証するものであり、ボッシュは長期的な視野に立った経営を行い、将来の成長を確保する重要な先行投資を積極的に行うことができます。ロバート・ボッシュ GmbHの株式資本の94%は慈善団体であるロバート・ボッシュ財団が保有しており、残りの株式はロバート・ボッシュ GmbHおよび創業家であるボッシュ家が所有する法人が保有しています。議決権の大半はロバート・ボッシュ工業信託合資会社が保有し、株主の事業機能を担っています。

\*2025年の為替平均レート、1ユーロ = 168.9731円で計算

さらに詳しい情報は以下を参照してください。

[www.bosch.com](http://www.bosch.com) ボッシュ・グローバル・ウェブサイト (英語)

[www.bosch-press.com](http://www.bosch-press.com) ボッシュ・メディア・サービス (英語)

[@BoschPress](https://www.bosch.com) ボッシュ・メディア公式X (ドイツ語)

[www.bosch.co.jp/](http://www.bosch.co.jp/) ボッシュ・ジャパン公式ウェブサイト (日本語)

[@BoschJapan](https://www.bosch.co.jp/) ボッシュ・ジャパン公式X (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン公式YouTube (日本語)

<https://www.linkedin.com/company/bosch-japan/> ボッシュ・ジャパン公式LinkedIn (日本語)